



JASDAQ

平成 28 年 4 月 25 日

各位

会社名 株式会社エヌジェイホールディングス
代表者名 代表取締役社長 筒井 俊光
(JASDAQ・コード 9421)
問合せ先
役職・氏名 経営企画室長 野澤 創一
電話 03-5418-8128

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 11 月 6 日付「第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成 28 年 3 月期の通期連結業績予想の修正について、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期 通期連結業績予想の修正

(1) 通期 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
					円 銭
前回予想 (A)	9,000	△200	△200	△200	△74.96
今回修正 (B)	9,000	△500	△500	△500	△187.87
増減額 (B－A)	0	△300	△300	△300	－
増 減 率	0.0%	－	－	－	－
(ご参考) 平成 27 年 3 月期実績	12,530	△51	△96	3,146	1,205.88

(注) 今回修正の 1 株当たり当期純利益は、平成 28 年 3 月 31 日時点の期中平均株式数を用いております。

(2) 修正の理由

売上高につきましては、ゲーム事業において、開発の遅れにより平成 28 年 3 月期 (以下、当期という。)に見込んでいた一部案件の納品が平成 29 年 3 月期 (以下、来期という。)にずれ込んだこと及び当該開発の遅れにより当期に予定していた新規案件の受注が来期にずれ込んだことから、当

該売上分が減少する一方、モバイル事業において、端末価格が上昇傾向にあり、売上が増加したことから、前回予想と同水準の見込みです。

営業損益及び経常損益につきましては、ゲーム事業において、当期第4四半期より受領開始が見込まれていたレベニューシェア（ロイヤリティ）収益がほぼ計画通り発生することが見込まれているものの、当期第3四半期の決算発表以降、当期損益に大幅なマイナス要因が発生することとなりました。具体的には、(1)上記開発の遅れにより、(i)開発費等の原価が増加したこと、(ii)開発案件の一部納品が来期にずれ込んだこと及び新規案件の受注が来期にずれ込んだことによる売上減少の影響（なお、モバイル事業における売上増加は利益に寄与するものではありません。）、(2)当初予定していなかった開発費一部負担案件の受注による受注損失引当金の計上（開発費を一部当社が負担し、販売本数に応じたロイヤリティにより開発費の回収を行い、収益を受領する形態）であり、これらの結果、営業損益及び経常損益は、それぞれ500百万円の営業損失、500百万円の経常損失となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純損益につきましては、500百万円の当期純損失となる見込みです。

以上